小　論　文

医学部（医学科）

注　意　事　項

1. 「解答始め」の合図があるまでこの冊子は開かないこと。
2. この冊子は表紙を除き 8 ページである。
3. 「解答始め」の合図があったら，まず，掲示又は板書してある問題冊子ページ数・解答用紙枚数・下書き用紙枚数が，自分に配付された数と合っているか確認し，もし数が合わない場合は手を高く挙げ申し出ること。次に，受験番号・氏名を必ずすべての解答用紙の指定された箇所に記入してから，解答を始めること。
4. 解答は，必ず解答用紙の指定された箇所に横書きで記入すること。

次の文章を読んで，あとの各問いに答えなさい。

著作権の観点から，公表しておりません。

著作権の観点から，公表しておりません。

著作権の観点から，公表しておりません。

著作権の観点から，公表しておりません。

著作権の観点から，公表しておりません。

著作権の観点から，公表しておりません。

著作権の観点から，公表しておりません。

出典：『思考停止という病理（やまい）　もはや「お任せ」の姿勢は通用しない』（[著] 榎本博明　平凡社新書 2023）より抜粋した。出題に際して，原文（縦書き）を横書きとし，原文の一部を改変している。

問 1　下線部①「いつでもどこでも簡単に情報検索ができるようになった」の記述に関して，以下の問いに答えなさい。

生成 AI（人工知能）Chat GPT などの登場で，我々は更に簡便にかつ直接的に欲しい情報にたどり着けるようになった。こういった情報検索機能が，疾患の診断・治療情報の確認のために医療現場に組み込まれる日がいずれ来ると考えられる。このような見通しと本文の趣旨を踏まえ，今後どのような能力が医療現場で求められると考えるか。そのために，あなたは今後どのように勉学に取り組み，どのような医師を目指すか。300 字以内で述べなさい。

問 2　下線部②の「認知的複雑性の高さ」とは何か。また，「認知的複雑性の高さ」を有した人にはどのような長所・短所があるか。その長所と短所に対するあなたの考えも含めて 400 字以内で述べなさい。

問 3　下線部③の「属人思考」とはどのような思考のことか。具体的な事例を挙げて 250 字以内で述べなさい。

問 4　下線部④の「吸収力を重視する教育」の記述に関して，具体的にどのような教育が求められるか。あなたの考えを 250 字以内で述べなさい。